

① パソコン「サポート詐欺」

「ウイルスに感染した」は詐欺の可能性大

！ 手口のポイント

- ⇒ 「パソコンがウイルスに感染している」等の警告画面が突然出る
- ⇒ 対応窓口の「電話番号」を表示し、電話をかけさせる
- ⇒ 不安をあおり、有料サポートを迫る

対策のポイント

- ✓ 決して 電話 をかけてはいけません
- ✓ 警告画面の指示に安易に従ってはいけません
- ✓ ソフトのダウンロードやインストールをしない
- ✓ 偽の警告か判断できない、対応に困ったら・・・
情報処理推進機構（IPA）のホームページ または
安心相談窓口 ☎ 03-5978-7509 へ

～ 事例詳細 ～

パソコンやスマートフォンに突然「ウイルスに感染している」等の警告画面や警告音が出て、それらをきっかけに電話をかけさせ、有料サポートやセキュリティソフトの契約を迫る「サポート詐欺」に注意しましょう。

最近では、コンビニで購入可能な電子マネーのプリペイドカードやギフトカードで支払いを要求されるケースが急増しています。



- Microsoft や Windows 等を偽り、次々と偽の警告画面や警告音が出ます。
- 「すぐ対応しないと個人情報流出する」「放置するとパソコンが使えなくなる」などユーザーを動揺させ電話をかけさせようとする表現が目立ちます。
- 正規のセキュリティサービスでは「警告表示に電話番号を表示して電話でサポートを行う」ことは通常ありません。
- 表示された電話番号は正規なものでない可能性が高く、電話をかけてはいけません。

SNS 広告やネット検索の上位表示にも注意！

⚠ 手口のポイント

- ⇒ 人気商品を割引価格で販売
- ⇒ ブランドロゴを盗用した、本物そっくりのサイトで信用させる
- ⇒ 代金前払いで商品を送らない、または別の商品を送る

対策のポイント

- ✓ 価格が安すぎないか
- ✓ 連絡先（電話番号やメールアドレスなど）の表示があるか
- ✓ 支払方法が限定的（クレジットカード決済や代金引換決済のみ）ではないか
- ✓ 不自然な日本語表記がないか

～ 事例詳細 ～

正規ブランドのロゴや商品画像を盗用した偽サイトで、商品を注文させ、代金を支払わせる詐欺の被害が全国で発生しています。

大手 SNS や検索サイトの広告は、安全なものばかりであるとは必ずしもいえません。広告から誘導されたサイトは特に注意しましょう。

〈被害にあってしまったら・・・〉

クレジットカード決済ならカード会社へ、銀行振り込みなら警察へ相談し、取引銀行へ連絡しましょう。全般の相談は 消費者ホットライン「188（いやや!）」番へ

どなたでも来所、相談いただけます。

③消費生活相談窓口を開設します。

日 時：6月29日（木） 11:00 ～ 13:00

場 所：役場1階 第一会議室